# 深セン・イノベーション株式ファンド
## （1年決算型）

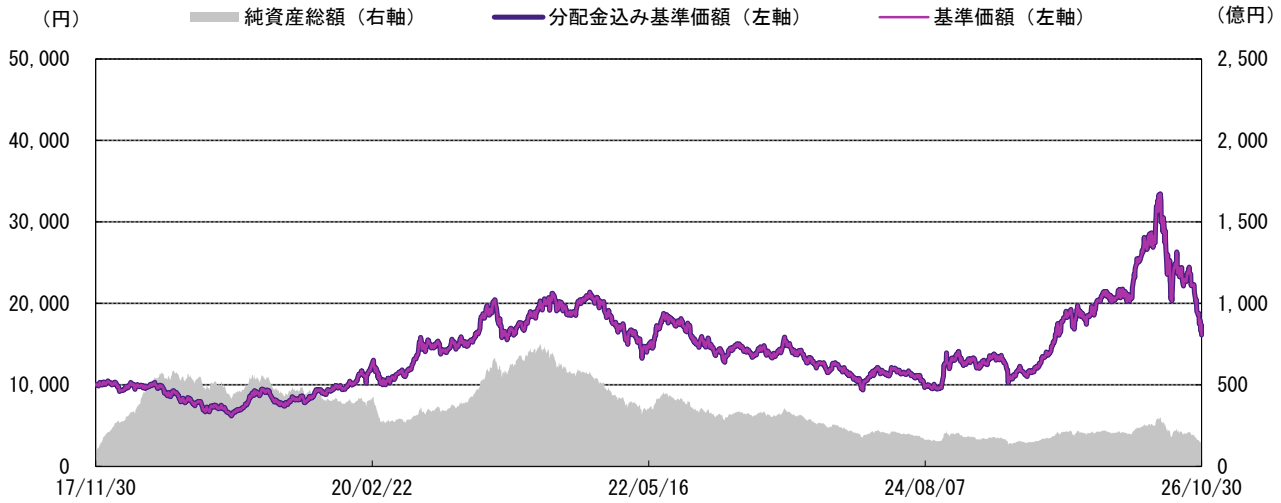
「Morningstar Award “Fund of the Year 2021”」にて、国際株式（グローバル・除く日本）型 部門 **優秀ファンド賞** を受賞

| | | |
|---|---|---|
| 設　定　日 ： 2017年11月30日 | 償　還　日 ： 無期限 | 決　算　日 ： 原則、毎年11月25日 |
| 収 益 分 配 ： 決算日毎 | 基 準 価 額 ： 16,134円 | 純 資 産 総 額 ： 138.20億円 |

※当レポートでは基準価額および分配金を１万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運　用　実　績

＜基準価額の推移グラフ＞




※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

＜資産構成比＞

| | | |
|---|---|---|
| 株式等 | | 96.2% |
| | うち先物 | 0.0% |
| 現金その他 | | 3.8% |

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

＜基準価額騰落の要因分解＞

| | |
|---|---|
| 前月末基準価額 | 22,350円 |
| 株式等要因 | -6,388円 |
| 為替要因 | 202円 |
| 分配金・その他 | -30円 |
| 当月末基準価額 | 16,134円 |

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

＜基準価額の騰落率＞

| １ヵ月 | ３ヵ月 | ６ヵ月 | １年 | ３年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|
| -27.81% | -21.51% | -36.83% | -16.99% | 35.63% | 61.34% |

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

| 21･11･25 | 22･11･25 | 23･11･27 | 24･11･25 | 25･11･25 |
|---|---|---|---|---|
| 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
※2021年9月30日現在より、＜業種別組入上位10業種＞＜組入上位10銘柄＞の「業種」表記について、「GICSの11セクター」から「GICSの産業別グループ」に詳細化しています。

＜通貨別組入比率＞

| 通　貨 | 比率 |
|---|---|
| 中国元 | 92.0% |
| 香港ドル | 5.1% |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

＜上場市場別組入比率＞

| 上場市場 | 比率 |
|---|---|
| 深セン市場 | 72.9% |
| 　メインボード | 26.0% |
| 　創業板 | 47.0% |
| 上海市場 | 19.1% |
| 　メインボード | 6.8% |
| 　科創板 | 12.3% |
| 香港市場 | 5.1% |
| 米国市場 | 0.0% |
| その他市場 | 0.0% |

＜業種別組入上位10業種＞

| 業　種 | 比率 |
|---|---|
| テクノロジー・ハードウェア | 53.2% |
| 半導体・半導体製造装置 | 17.6% |
| 資本財 | 8.3% |
| 素材 | 6.4% |
| ソフトウェア・サービス | 5.2% |
| 医薬品・バイオテクノロジー | 4.1% |
| エネルギー | 1.4% |
| 自動車・自動車部品 | 1.0% |
| | |
| | |

＜組入上位10銘柄＞（銘柄数：68銘柄）

| | 銘　柄　名 | 通　貨 | 上場市場 | 業　種 | 比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A<br>ジョンジ・イノライト | 中国元 | 深セン市場　創業板 | テクノロジー・ハードウェア | 9.1% |
| 2 | EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A<br>エオプトリンク・テクノロジー | 中国元 | 深セン市場　創業板 | テクノロジー・ハードウェア | 6.0% |
| 3 | CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A<br>コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー | 中国元 | 深セン市場　創業板 | 資本財 | 3.3% |
| 4 | HANGZHOU CHANG CHUAN TECHN-A<br>コウシュウ・チャンチュアン・テクノロジー | 中国元 | 深セン市場　創業板 | 半導体・半導体製造装置 | 2.5% |
| 5 | SHENNAN CIRCUITS CO LTD-A<br>シェンナン・サーキッツ | 中国元 | 深セン市場　メインボード | テクノロジー・ハードウェア | 2.2% |
| 6 | CAMBRICON TECHNOLOGIES-A<br>カンブリコン・テクノロジーズ | 中国元 | 上海市場　科創板 | 半導体・半導体製造装置 | 2.1% |
| 7 | CHAOZHOU THREE-CIRCLE GROU-A<br>チャオジョウ・スリーサークル | 中国元 | 深セン市場　創業板 | テクノロジー・ハードウェア | 2.1% |
| 8 | SHENZHEN FASTPRINT CIRCUIT-A<br>シェンジェン・ファストプリント・サーキット・テック | 中国元 | 深セン市場　メインボード | テクノロジー・ハードウェア | 2.0% |
| 9 | NAURA TECHNOLOGY GROUP CO-A<br>ナウラ テクノロジー | 中国元 | 深セン市場　メインボード | 半導体・半導体製造装置 | 2.0% |
| 10 | ACCELINK TECHNOLOGIES CO -A<br>アクセリンク・テクノロジーズ | 中国元 | 深セン市場　メインボード | テクノロジー・ハードウェア | 1.9% |

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
※一部の市場において、流動性などを勘案して、該当企業のADR・GDR（預託証券）等を組み入れる場合があります。

＜規模別構成比率＞

| 時価総額 | 比率 |
|---|---|
| 超大型株（５兆円以上） | 26.5% |
| 大型株（１兆円以上５兆円未満） | 43.3% |
| 中型株（3,000億円以上１兆円未満） | 22.9% |
| 小型株（3,000億円未満） | 7.3% |

※「規模別構成比率」は組入銘柄の評価額の合計を100%として計算したものです。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 運　用　コ　メ　ン　ト

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

当月の深セン株式市場は、前月末比で下落しました。

中国の9月の製造業および非製造業の購買担当者景気指数（PMI）がともに前月から上昇し、景況感の改善が示されたものの、人工知能（AI）関連投資の収益性に対する世界的な見直しや、米国での追加利上げへの警戒感、米国ハイテク企業の決算が市場の期待を下回ったことなどが投資家心理の重しとなりました。また、売買高が年初来の低水準となるなど、市場の流動性も低下しました。上場投資信託（ETF）の買いや企業の自社株買いが活発化しましたが、持続的な反発にはつながりませんでした。

セクター別では、半導体や電子機器、光通信などのAI関連株が特に下旬にかけて大きく売られ、情報技術や素材、通信サービスが軟調に推移しました。一方、エネルギーや消費財、金融、公益事業は市場平均を上回る動きとなりました。

◎運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で下落しました。

当月は、AIハードウェア関連銘柄の保有比率を高めとする一方、ディフェンシブ銘柄の保有比率を低位としていたことから、テクノロジー株を中心とした市場の調整影響を受けました。一方、ヘルスケア、家電、コンピューター・ソフトウェア関連銘柄への投資は、下落の影響を一部緩和しました。

AIハードウェア関連企業では好調な第3四半期決算がみられたものの、一部のテクノロジー関連銘柄への投資家の資金集中や市場流動性の低下が意識され、テクノロジー株は軟調に推移しました。こうしたなか、ポートフォリオの変動を抑える観点から、テクノロジー関連銘柄の配分を見直しました。また、中国におけるEV（電気自動車）や蓄電池の国内需要の弱さを踏まえ、カーボン・ニュートラル関連銘柄については慎重な投資姿勢を維持しました。

◎今後の見通し

11月にかけて、中国A株市場は引き続き高い変動性を伴なう展開が予想されます。現時点では全面的な反発というよりも、個別銘柄の選別による局地的な投資機会が中心になると考えられます。10月の調整局面を経て、ＡＩ関連銘柄のバリュエーションはさらに低下しました。

一方、AI関連株のポジション解消が続いていることから、過度な設備投資に依存した期待ではなく、持続的な利益成長を示す企業の見極めが重要になる局面であるとみています。低バリュエーション環境は選別的な投資機会をもたらしますが、実際の受注動向や利益率、キャッシュフローが業績期待を裏付ける必要があります。

市場全体では、売買代金が低迷するなか短期的な反発余地はあるものの、持続的な回復には業績の確度向上と投資家の資金流入が不可欠です。第3四半期決算、テクノロジー分野の受注動向、国内政策の実施状況、売買代金の推移、世界的なAI関連投資や資金調達環境の動向などが、今後の相場展開を左右する材料になると考えます。

企業ガイダンスが需要見通しを裏付けるか、政策支援が企業マインドの改善につながるかを注視し、業績の確度とバリュエーションがかみ合う局面で選別的な投資機会が広がる可能性があります。流動性支援によってセンチメントが一時的に持ち直す場面もあり得ますが、持続的な上昇トレンドにはファンダメンタルズの改善が不可欠であり、慎重な姿勢を維持すべき局面であるとみています。

11月は、市場が反発する局面を捉えながら、ポートフォリオのリバランスを進める方針です。成長株では、光通信、半導体、PCB（プリント基板）、先端製造分野をリードする企業のうち、受注の質、キャッシュ創出力、バリュエーションを精査し、投資妙味が認められる銘柄を厳選します。単に株価が下落したという理由だけで投資比率を引き上げることはせず、テクノロジー関連では質が高いと判断する企業に投資を絞り込むとともに、AIハードウェア関連からAIアプリケーション関連への配分の見直しも進めます。

質の高いバリュー株については、ヘルスケア、メディア、インターネット関連を選好するとともに、財務基盤が強固で持続的なキャッシュフローが見込まれる新素材関連銘柄を選別します。一方、カーボン・ニュートラル関連については慎重な銘柄選択を継続し、業績安定化の兆しが確認できない高レバレッジ企業への投資は避ける方針です。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

| |
|---|
| 1 ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A / ジョンジ・イノライト / 中際旭創<br>光通信モジュールを主力とする民営企業。中国のデータセンターでは政策支援で需要が急増しており、AIテーマの一環としても市場の注目が高まる。 |
| 2 EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A / エオプトリンク・テクノロジー / 成都新易盛通信技術<br>光モジュールの研究と開発（R&D）、製造に従事する。同社の光トランシーバーモジュールは、AIやMLクラスタリングおよびクラウド・データセンターに使用される。今後のAI普及が成長ドライバーに。 |
| 3 CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A / コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー / 寧徳時代新能源科技<br>電池製品メーカー。パワーバッテリー・システム、エネルギー貯蔵電池、電池セル、その他製品を製造する。電池リサイクルサービスも展開。 |
| 4 HANGZHOU CHANG CHUAN TECHN-A / コウシュウ・チャンチュアン・テクノロジー / 杭州长川科技<br>半導体検査・試験装置（テスター、ハンドラ、AOI等）の専業メーカー。後工程向けの国産代替を牽引し、中国ICメーカーと深い顧客基盤を持つ。研究開発力と買収による製品拡張が特徴。半導体国産化投資、車載・先端パッケージ需要が成長ドライバー。 |
| 5 SHENNAN CIRCUITS CO LTD-A / シェンナン・サーキッツ / 深南電路<br>プリント基板（PCB）メーカー。プリント基板、パッケージ基板、電子アセンブリに従事し、「スリー・イン・ワン」の独自の事業モデルを展開。 |
| 6 CAMBRICON TECHNOLOGIES-A / カンブリコン・テクノロジーズ / 中科寒武紀科技<br>AI向けの半導体の設計、開発を行う。主な製品は、端末用インテリジェントプロセッサの知的財産（IP）、クラウドスマートチップとアクセラレータカードなど。幅広い分野におけるAI利用拡大の恩恵を享受することが期待される。 |
| 7 CHAOZHOU THREE-CIRCLE GROU-A / チャオジョウ・スリーサークル / 三環集團<br>中国のアドバンスセラミックスの製造会社。セラミック製フェノール、スリーブ、回路基板、コンデンサ、その他セラミック製品の研究、開発、製造、販売を手掛ける。光通信、機械、環境保護、新エネルギー産業向けに製品を提供。 |
| 8 SHENZHEN FASTPRINT CIRCUIT-A / シェンジェン・ファストプリント・サーキット・テック / 深圳市興森快捷電路科技<br>中国の電子回路メーカー。プリント基板（PCB）、ICパッケージ基板、半導体テスト用基板などを手掛け、通信、データセンター、自動車、医療、産業機器、半導体など幅広い分野に製品やソリューションを提供。 |
| 9 NAURA TECHNOLOGY GROUP CO-A / ナウラ テクノロジー / 北方華創科技集団<br>半導体製造装置メーカー国営大手。中国政府が推進する半導体サプライチェーン国産化の一角。半導体、真空装置、リチウム電池などを手掛けるほか、抵抗器、キャパシターなどの電子部品も製造する。 |
| 10 ACCELINK TECHNOLOGIES CO -A / アクセリンク・テクノロジーズ / 武漢光迅科技<br>中国の光通信機器メーカー。光トランシーバー、光増幅器、波長管理モジュールなどの光電子部品を開発・製造。通信ネットワークのほか、データセンターやクラウド、5Gなど幅広い用途に製品を提供。 |

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**
■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

モーニングスター株式会社※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）の選定により、下記を受賞しました。




「Morningstar Award “Fund of the Year 2021”」
国際株式（グローバル・除く日本）型 部門

## 優秀ファンド賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※（現：ウエルスアドバイザー株式会社）が判断したものです。国際株式（グローバル・除く日本）型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド967本の中から選考されました。

※モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。
現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**
■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

### 1 中国のシリコンバレーとして知られる深センに着目し、イノベーション企業の成長を積極的に捉えます。

- 深セン証券取引所に上場されている、人民元建ての中国本土株式（中国A株）を主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。また、米国の金融商品取引所などに上場されている中国企業が発行する株式（預託証書を含みます。）にも投資を行ないます。
- 大型株式だけでなく、中小型株式にも幅広く投資機会を求めます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行ないません。

### 2 アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッドが運用を行ないます。

- 中国A株や、アジアの株式への投資に豊富な実績を有する、アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッドがマザーファンドの運用を行ないます。
- 深センに本拠を置き、中国本土市場に精通した資産運用会社として知られる融通（ロントン）基金管理有限公司から提供される情報や、アモーヴァ・アセットマネジメント・ホンコンリミテッドからの情報も活用します。

### 3 年1回、決算を行ないます。

- 毎年11月25日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。




- 深センは1980年に中国政府によって経済特区に指定されて以降、飛躍的な成長を遂げてきました。近年は新興産業の発展に力を入れており、米国のシリコンバレーに匹敵する新たなイノベーション都市として、世界の注目を集めています。
- 深セン証券取引所は、国営企業などオールドエコノミーの企業が多く上場する上海証券取引所と異なり、IT（情報技術）やヘルスケアなどニューエコノミーの民間企業が多く上場しています。また、米国のナスダック市場にあたる新興企業向け市場が設けられていることも特徴です。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込みメモ

| | |
|---|---|
| **商品分類** | 追加型投信／海外／株式 |
| **購入単位** | 販売会社が定める単位<br>※販売会社の照会先にお問い合わせください。 |
| **購入価額** | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| **信託期間** | 無期限（2017年11月30日設定） |
| **決算日** | 毎年11月25日（休業日の場合は翌営業日） |
| **収益分配** | 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。<br>ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。<br>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 |
| **換金価額** | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| **購入・換金申込不可日** | 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>・シンガポール証券取引所の休業日　・シンガポールの銀行休業日<br>・深セン証券取引所の休業日　・中国の銀行休業日<br>・香港証券取引所の休業日　・香港の銀行休業日 |
| **換金代金** | 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。 |
| **課税関係** | 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。<br>※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。<br>※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。<br>※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※配当控除の適用はありません。<br>※益金不算入制度は適用されません。 |

## ■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

| | |
|---|---|
| **購入時手数料** | 購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内<br>※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| **換金手数料** | ありません。 |
| **信託財産留保額** | ありません。 |

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

| | |
|---|---|
| **運用管理費用（信託報酬）** | ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.705%（税抜1.55%） |
| **その他の費用・手数料** | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。<br>組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。<br>※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。 |

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

| | |
|---|---|
| **委託会社** | アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 |
| **投資顧問会社** | アモーヴァ・アセットマネジメント アジア リミテッド |
| **受託会社** | 三井住友信託銀行株式会社 |
| **販売会社** | 販売会社については下記にお問い合わせください。<br>アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社<br>〔ホームページ〕　www.amova-am.com<br>〔コールセンター〕　0120-25-1404　（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。） |

■お申込みに際しての留意事項
〇リスク情報
投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
流動性リスク
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。
信用リスク
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
為替変動リスク
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。
カントリー・リスク
・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国Ａ株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、ＱＦＩＩ制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〇その他の留意事項
・当資料は、投資者の皆様に「深セン・イノベーション株式ファンド（１年決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

**投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは**

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| アイザワ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第3283号 | ○ | ○ | | ○ |
| 株式会社あいち銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第12号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社青森みちのく銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第1号 | ○ | | | |
| あかつき証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第67号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社イオン銀行<br>（委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | |
| 今村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 北陸財務局長（金商）第3号 | ○ | ○ | | |
| 岩井コスモ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第15号 | ○ | ○ | ○ | |
| ＳＭＢＣ日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社ＳＢＩ証券<br>※右の他に、以下にも加入<br>一般社団法人日本ＳＴＯ協会<br>一般社団法人日本暗号資産等取引業協会<br>日本商品先物取引協会 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社ＳＢＩ新生銀行<br>（委託金融商品取引業者　株式会社ＳＢＩ証券）<br>（委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | ○ | |
| ＯＫＢ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第191号 | ○ | | | |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第53号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 岡三ビジネス＆テクノロジー証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第170号 | ○ | ○ | | |
| 岡地証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第5号 | ○ | ○ | | |
| 株式会社北九州銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第117号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社紀陽銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第8号 | ○ | | | |
| 株式会社熊本銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第6号 | ○ | | | |
| ぐんぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2938号 | ○ | | | |
| 株式会社佐賀銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第1号 | ○ | | ○ | |
| 四国アライアンス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 四国財務局長（金商）第21号 | ○ | | | |
| 静銀ティーエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第10号 | ○ | | | |
| 株式会社十八親和銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第3号 | ○ | | | |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第7号 | ○ | | ○ | |
| 十六ＴＴ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第188号 | ○ | | | |
| 株式会社荘内銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第6号 | ○ | | | |
| 株式会社仙台銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第16号 | ○ | | | |
| 株式会社筑邦銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第5号 | ○ | | | |
| 株式会社千葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第39号 | ○ | | ○ | |
| 東海東京証券株式会社<br>※右の他に一般社団法人日本ＳＴＯ協会にも加入 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第140号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 東洋証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第121号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社富山銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第1号 | ○ | | | |
| 株式会社富山第一銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第7号 | ○ | | | |
| 内藤証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第24号 | ○ | | | ○ |
| 南都まほろば証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第25号 | ○ | | | |
| 西日本シティＴＴ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長（金商）第75号 | ○ | | | |
| 浜銀ＴＴ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第1977号 | ○ | | | |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第134号 | ○ | | | |
| ひろぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長（金商）第20号 | ○ | | | |
| 株式会社福岡銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第7号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社福岡中央銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第14号 | ○ | | | |
| ＰａｙＰａｙ銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第624号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社北都銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第10号 | ○ | | | |
| 株式会社北陸銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第3号 | ○ | | ○ | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 丸八証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第20号 | ○ | | | |
| 株式会社三井住友銀行<br>（委託金融商品取引業者　ＳＭＢＣ日興証券株式会社） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第54号 | ○ | | ○ | ○ |
| 三菱ＵＦＪ　ｅスマート証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第181号 | ○ | ○ | | |
| むさし証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第105号 | ○ | | | ○ |
| 株式会社もみじ銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第12号 | ○ | | ○ | |
| 株式会社山形銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第12号 | ○ | | | |
| 株式会社山口銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第6号 | ○ | | ○ | |
| 山和証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第190号 | ○ | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ワイエム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長（金商）第8号 | ○ | | | |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。